

その笑顔は、何かの合図？
サイン

THE MAN WHO NEVER CAME HOME
帰ってこなかった男

卯ノ原圭吾
齋藤千晃
実倉萌笑
小幡貴史 松本響 島林瑞樹 八木亜希紗
鐘ヶ江佳太 佐藤達也
宮本聖矢 米元信太郎

監督・脚本・編集・製作 小嶋貴之

撮影監督 小嶋貴之 Keisuke Mizushima

照明 堀内 隆弘

録音 伊藤 泰輔

美術 江崎 真由美

メイク 大島 美保

撮影助手 白井 翔香

助監督 宇津野 竜輔 荻崎 文

制作進行 大塚 勝彦

制作助手 山口 正弘

美術助手 宮本 聖矢

音楽 川崎 和宏 (コサエルクリエイティブ)

配給 ジェンハート

2024年 日本「カラー」シネマスコピー「ステレオ」47分

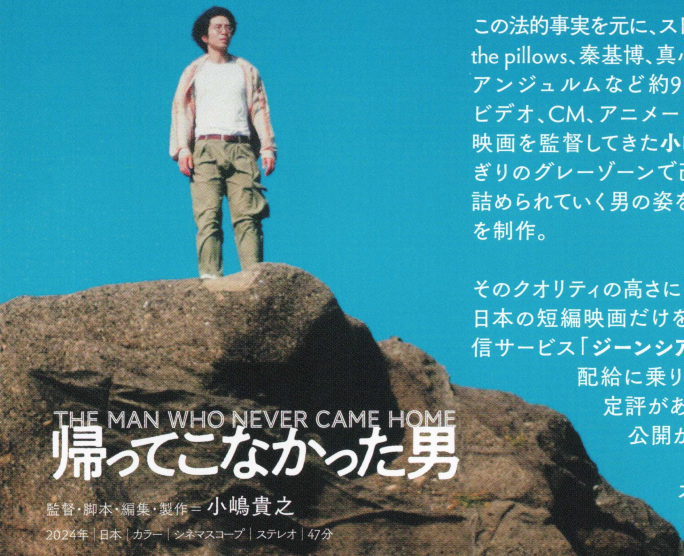
あと半年で失踪宣告。

保険金を巡って交差する秘かな思惑が捻れていく



配偶者が**3年以上生死不明**の場合、
離婚訴訟を経て離婚ができる。

不在者の生死が**7年間不明**な場合、失踪の宣告をすることができ、
死亡保険金受取人は**保険金を受け取る**ことができる。



この法的事実を元に、ストレイテナー、柴咲コウ、the pillows、秦基博、真心ブラザーズ、℃-ute、アンジュルムなど約900本のMVやライブビデオ、CM、アニメーション、ドラマ、短編映画を監督してきた小嶋貴之が、モラルギリギリのグレーゾーンで己の弱さの故に追い詰められていく男の姿を描くサスペンス映画を制作。

そのクオリティの高さに、感情を沸き立たせる日本の短編映画だけをラインナップする配信サービス「ジーンシアター」が初めて映画配給に乗り出し、セレクションに定評があるテアトル新宿での公開が決定した！

不倫相手と共に妻の

元夫の保険金を使うことを目論む夫・持田孝明役で卯ノ原圭吾が、失踪から6年半経ち、保険金受け取りまで半年に迫ったタイミングで元夫に瓜二つの男に遭遇し、うろたえる妻・持田佳奈役で斎藤千晃が、自分だけを愛して欲しいという一心で、孝明を振り回す岸本あゆみ役で実倉萌笑が出演。

元夫に瓜二つの男「倉田」役で宮本聖矢、倉田が働く居酒屋の店長役で米元信太郎が出演し、孝明を追い詰めていく。

その他、孝明とあゆみの起業仲間役で、小幡貴史、松本響、島林瑞樹、佳奈のバイト仲間役で八木亜希紗、佳奈がバイトするネットカフェの店長役で鐘ヶ江圭太、保険の外交員役で佐藤達也が脇を固める。

監督・脚本・編集・製作＝小嶋貴之
2024年 | 日本 | カラー | シネマスコープ | ステレオ | 47分

STORY

元夫・由紀夫の失踪から6年半。保険金受け取りまで半年に迫った持田佳奈と現在の夫・持田孝明は、保険金が入ることを疑わず、将来の計画を立てている。不倫をしている孝明は、会社を辞め、不倫相手・岸本あゆみらと設立するベンチャー企業に出資することにしていたが、ある日、佳奈がたまたま入った居酒屋で、由紀夫に瓜二つの男に遭遇。

真っ青になる二人だが、追い討ちをかけるように、あゆみは、佳奈はそもそも本当に生命保険をかけているのかと孝明の気持ちを試す。さらに孝明は、怪しむ居酒屋の店長に、あゆみといふところを見られてしまい…果たして、「倉田」というネームプレートをつけた男は、由紀夫なのか？二人は保険金を受け取れ、孝明は不倫がバレずに、保険金を出資に使えるのか？

公式SNS

@kaettekonnakatta
 @kaettekonnakattaotoko

公式サイト



小さな染みが拡がるように、僕らの計画が滲んでいく――

2025年

3月28日金より 全国順次公開

前売券 (1,000円。当日一般1,200円)の処 劇場窓口にて絶賛発売中！

舞台挨拶、イベント情報に関しては、HP、SNSをご確認ください。

新宿駅東口 伊勢丹メンズ館隣 B1F

テアトルシネマグループ

テアトル新宿

03 (3352) 1846 ttcg.jp

